

令和4（2022）年10月

士別市長 渡 辺 英 次

「市長へのメール」の回答について

拝 啓

秋冷の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長へのメール」で、新型コロナウイルスの感染対策に関する貴重なご意見をいただきました。

市立病院の感染予防対策のルールは、感染管理看護師を中心とした多職種からなる感染制御チームにより情報収集と検証を行い決定し、病院全体に周知しています。

ご意見をいただいたマスク着用についても同様で、現在の国内外の研究機関等の知見では、空気中を移動するウイルスはごく小さな単体ではなく、排出した人の唾液と一緒にある程度大きな飛沫として飛ぶため、不織布サージカルマスクでキャッチでき、正しく着用しているうえでは十分な予防効果が得られるとされています。

一方、N95 マスクは、感染を疑う患者や陽性患者の検体採取、医療処置、病室入室など直接接触する場合に限って使用しています。

職員全員の N95 マスク着用が、職員患者両方にとって安心感が増すのではとのお気持ちは理解できるものですが、現状の対応でも一定の効果が認められることと、着用時には呼吸がしにくくなり業務中の使用には適さないとの判断をしています。

また、これまで当院職員が陽性になったことは数例ありますが、同居家族からの感染が要因であったり、8月末に発生した病棟クラスターにおいても、病状的にマスク着用が困難な入院患者さんの間で拡大するなど、N95 マスクを使用しなかったことが要因と思われるものはないと認識しています。

N95 マスクは、医療機関での取り扱いのほか、高齢者施設等で感染者が発生した場合についても、感染者と接触する際に装着するなどの感染対策を行っています。

本市では、N95 マスクを含む感染防止対策用品については、すでに備蓄しており、主に高齢者施設等で感染者が発生した場合や、各施設等で感染防止対策用品をすぐに用意出来ない・不足する場合については、市から貸し出しを行っています。

各施設では、国からの補助金を活用し感染防止対策用品を備蓄しているため、市から貸し出しした用品については後日返却していただいております。

また、自宅療養者については、基本的に外出できないため、自宅で感染対策を行っていただくこととなりますが、同居人がいる場合については、感染者との部屋を可能

な限り分け、人との接触をさげ、部屋の換気やマスクの着用、手洗いなどの対策を行う事になります。

一般的に着用するマスクについては、国では「不織布マスク」を推奨しており、自宅等で着用するマスクについても、隙間が出来ないように顔にフィットさせるなど正しく着用することでより高い効果が得られると考えていることから、自宅療養者のマスクについては不織布マスクが適切と考えます。

今後とも、いただきましたご意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染予防対策を行っていくことが重要であると考えますので、引き続き感染予防へのご理解とご協力をお願いいたします。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長へのメール」の回答といたします。

敬 具

- ・担当課①  
市立病院経営管理部総務課  
士別市東11条5丁目 電話23-2166 (直通)
- ・担当課②  
健康福祉部保険福祉センター  
士別市東11条5丁目 電話22-2400 (直通)
- ・広聴担当課  
市民自治部自治環境課  
士別市東6条4丁目 電話26-7736 (直通)